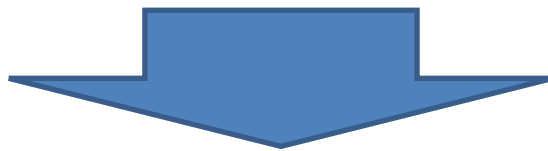


「福島県産の食品中に含まれる放射性物質と健康影響」まとめ

- 食品規制がうまく機能している
- 陰膳方式による調査によると、食品中に放射性セシウムがほとんど検出されていない
- ホールボディカウンター検査によると、体内のセシウム濃度は減少し、ほとんど検出されていない
- 規制値（100ベクレル/kg）を超えたことのある食品は、魚、山菜、キノコなどに集中し、かつ、規制値を超える値が検出された食品は市場には流通していない。



- 食品を通した内部被ばくによる発がんリスクは、非常に小さいと考えられる
- 福島県産の食に関する情報の共有が重要